

## ◎ サッカールール抜粋

～詳細はルールブックを読むかコーチに聞いてください。～

### \* ファウル

次の場合ファウルになり、ファウルが起きた場所から相手チームに**直接フリーキック**が与えられます。

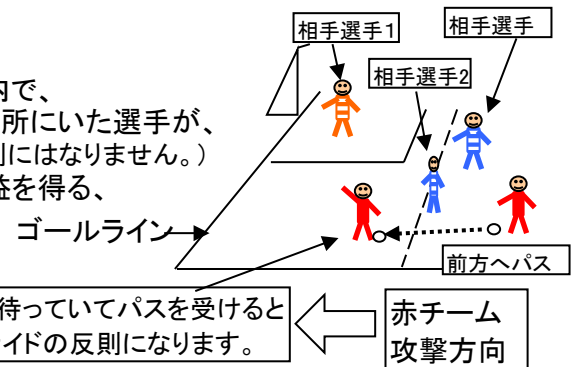
- ・選手が相手選手を、蹴る、つまずかせる、飛びかかる、チャージする、打つ、押す、タックルする、を”不用意に”、”無謀に”または”過剰な力で”行ったら**主審が判断した場合**。
- ・相手選手につばを吐く。相手選手を抑える。
- ・ボールを意図的に手で扱う(ペナルティエリア内のゴールキーパーを除く)。  
手や腕を、肩より上げたり、必要以上に広げてボールを防ぎに行くことも意図的と判断されます。  
(手や腕に触れて得点、得点チャンスになった場合は意図的でなくてもハンドと判断されます。)

次の場合ファウルになり、ファウルが起きた場所から相手チームに**間接フリーキック**が与えられます。  
(※間接フリーキック:キックされたボールが直接ゴールに入っても得点になりません。)

- ・選手が”危険な方法”でプレーしたと主審が判断した場合。  
ボールが両競技者のプレーできる範囲にないときに相手選手の進行を妨げる。
- ・オフサイドの反則があった場合。

### \* オフサイド : 待ち伏せを禁止するルールです。

味方選手が前方にボールをパスした瞬間に、相手側ハーフ内で、後方から2人目の相手選手より相手側ゴールラインに近い場所にいた選手が、(これをオフサイドポジションにいる、と言いますがこの時点では反則にはなりません。)プレーする、相手選手に干渉する、その位置にいることで利益を得る、と主審が判断した時にオフサイドの反則になります。  
スローイン、ゴールキック、コーナーキックからのボールを直接受けた場合はオフサイドの反則にはなりません。



オフサイドの反則になった場合、

**反則が起きた場所**から間接フリーキックでプレーを再開します。

(オフサイドポジションと判断された場所ではなく、**反則と判断された場所**からの再開になります。)

### \* 警告 (イエローカード)

次の場合、イエローカードが示され警告されます。

- 反スポーツ的行為、言葉・行動による審判への異議、繰り返しの競技規則違反、プレー再開を遅らせる。  
(審判の笛に対して「ファウルじゃねえ!」と言ったり、TVシグナルを示すのは審判への異議になります。)
- ペナルティキックの時、ゴールキーパーが違反し、ボールがゴールに入らなかった場合。  
大会を通じて2又は3回の警告が累積した場合、その選手は次の試合に出場できません。

### \* 退場 (レッドカード)

次の場合、レッドカードが示され退場を命じられます。

- 著しく不正なファウルプレー、乱暴な行為、相手選手へつばを吐く、手や腕を使って、または反則で決定的な得点機会を阻止する(ボールにチャレンジした結果の反則は除く)、攻撃的な、侮辱的な発言や身振りをする、同じ試合での2つ目の警告を受ける。  
(相手選手、審判に「バカヤロー!」とか言うとお退場させられます。)

### \* アドバンテージ

ファウルとなる行為が行われても、ファウルを取った方がファウルをされた側のチームに不利になると主審が判断した場合、アドバンテージルールを適用しファウルを取りません。  
(直後に状況が変わった場合、戻ってファウルを取ることもあります。)

### \* ゴールキーパーの反則

ゴールキーパーが下記を行った場合、反則となり相手チームに**間接フリーキック**が与えられます。

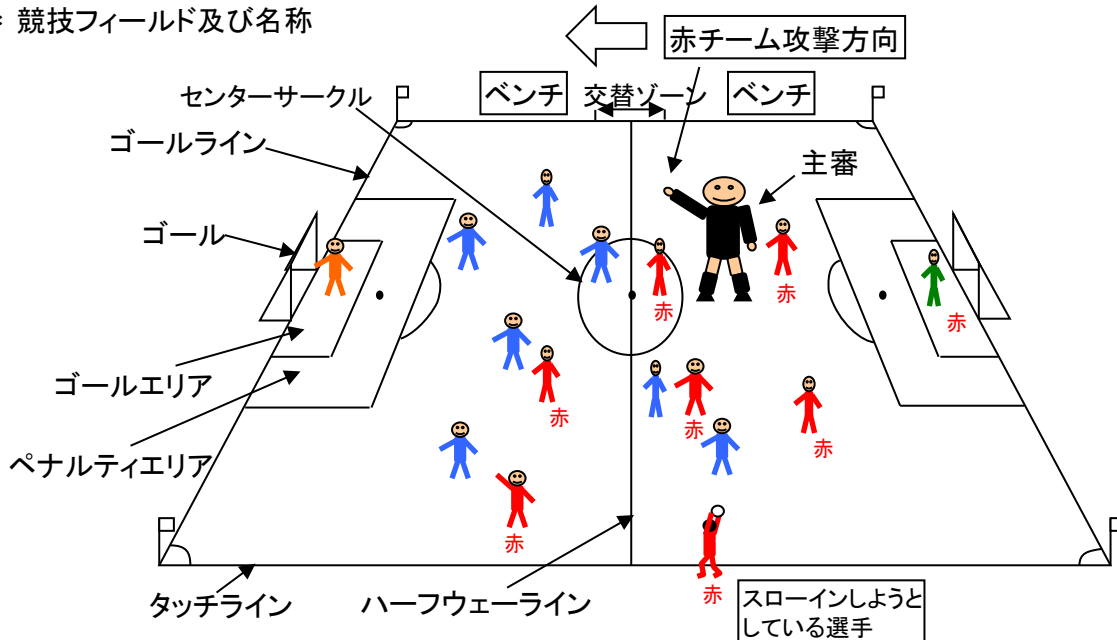
- ・6秒を超えて手でボールをコントロールする。
- ・保持したボールを放したのち、他の選手がボールに触れる前に再び手でコントロールする。
- ・味方選手から**意図的に**ゴールキーパーにキックされたボールを手で扱う。  
(意図的なキックかどうかは主審が判断します。)
- ・味方選手によってスローインされたボールを直接受けて手でコントロールする。

\* 主審のシグナル

- ・キックオフ(開始)、タイムアップ(終了)の他、ファウル等でプレーを停止する時、笛を吹きます。
- ・ボールがタッチラインより出た時やファウルが起きた時、スローイン、フリーキックを行うチームが攻撃する方を手で指します。(下図は青チームがボールを出し、赤チームがスローインを行う場合です。)
- ・主審が笛を吹いた後、頭上に片腕を挙げている時は、間接フリーキックである合図です。
- ・フリーキック、ゴールキック、コーナーキック、スローインで再開される場合、主審がもう一度笛を吹いてプレーを停止させた場合を除き、主審は再開の笛は吹きません。



\* 競技フィールド及び名称

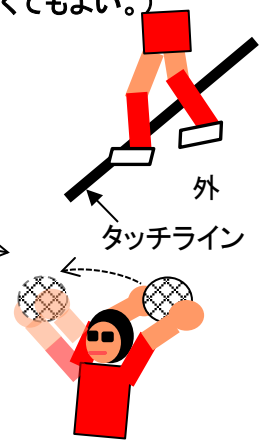


\* キックオフ

キックオフをする選手を除き、それぞれの自分たちのハーフ内にいること。主審が笛を吹き、蹴られて明らかに動いた時にインプレーになります。(前方に蹴らなくてもよい。) 相手選手はインプレーになるまで7m以上離れる。(センターサークルの外にいる。)

\* スローイン

スローインはボールがフィールドから出た地点から行う。両足ともその一部をタッチライン上またはタッチライン外のグラウンドにつける。両手で、頭の後方から頭上を通してボールを投げる。相手選手はスローインが行われる場所のタッチラインから2m離れる。スローインが正しく行われなかった場合は相手チームのスローインで再開されます。



\* フリーキック

ボールは静止させる。蹴られて明らかに動いた時にインプレーとなります。相手選手はインプレーになるまで7m以上離れる。

\* ゴールキック

ゴールエリア内に静止させる。蹴られて明らかに動いた時にインプレーになります。相手選手はインプレーになるまでペナルティエリアの外にいる。

\* ドロップボール

主審がファウル以外でプレーを停止した場合、ドロップボールで再開されます。停止前の最後にボールに触れたチーム側の選手1人、ペナルティエリア内の場合にはゴールキーパーにボールがドロップされます。主審がボールをドロップし地面に触れた時インプレーになります。他の選手は4m以上離れる。

\* 交替

- ・ゴールキーパーを除き主審の了承なしでインプレー中でも交替できます。(8人制ルール) 交替はハーフウェーラインの両側に設置された交替ゾーンから行います。交替して退くゴールキーパーは主審の了承後、一番近くのゴールラインまたはタッチラインから外に出ます。
- ・交替する選手がフィールドの外に出てからフィールド内に入ります。(交替選手が外に出る前にフィールドに入ると警告されます。)